

(公印省略)  
感疾第739-15号  
令和5年6月26日

群馬県医師会長 }  
群馬県病院協会長 } 様

群馬県健康福祉部感染症・がん疾病対策課長 中村 多美子

オズウイルスによる心筋炎と診断された患者の報告について（情報提供）

本県の感染症対策につきましては、日頃から御理解、御協力いただき感謝申し上げます。  
さて、別添のとおり厚生労働省健康局結核感染症課から情報提供がありましたので送付  
します。

つきましては、貴会会員の皆様に御周知願います。

**【事務連絡概要】**

- 今般、2022年初夏に心筋炎で亡くなられた患者について、茨城県衛生研究所と国立感染症研究所における検査の結果、オズウイルス（Oz virus）による心筋炎と診断されたことが報告された。
- オズウイルスは、オルソミクソウイルス科トゴトウイルス属に属するウイルスで、2018年に国内のマダニから初めて分離・同定されたウイルスである。
- 感染マダニの刺咬により感染する可能性が考えられるが、感染経路について現時点で確立された知見は得られていない。
- 本症例に関わらず、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱、つつが虫病等のダニ媒介感染症については、継続して患者の発生が報告されていることから、予防対策の周知・啓発に、引き続きご協力いただきたい。

**【参考資料】**

- 別添1：病原微生物検出情報（IASR）速報 初めて診断されたオズウイルス感染症患者
- 別添2：オズウイルス感染症について
- 別添3：オズウイルス感染症に関するQ&A
- 別添4：「ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）」（令和5年5月9日厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

担当：感染症危機管理第二係 須永  
電話：027-226-3316